

令和5年1月31日

各位

会社名 株式会社オークファン
 代表者名 代表取締役社長 武永 修一
 (コード番号 3674 東証グロース)
 問合せ先 取締役 海老根 智仁
 (TEL 03-6809-0951)

第16期(2022年9月期) 通期連結業績予想と実績値との差異および

連結子会社による貸倒引当金繰入計上に関するお知らせ

当社は、令和4年10月21日に適時開示しました「特別調査委員会の設置及び2022年9月期決算発表の延期に関するお知らせ」に記載しましたとおり、2022年12月期通期連結業績予想につきましては未定とさせていただいておりましたが、本日公表の実績値において2021年11月12日に公表している2022年12月期通期連結業績予想との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、2022年9月期第3四半期(2022年4月1日～2022年6月30日)において、貸倒引当金の繰入計上を行っております。直前連結会計年度の連結経常利益の30%ならびに親会社株主に帰属する当期純利益の30%に相当する額以上となりますので、営業損失の発生事実として併せてお知らせいたします。

1. 通期業績予想と実績値との差異について

2022年9月期通期連結業績予想数値と実績値との差異(2021年10月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株あたり当期純利益
2021年11月12日 発表予想(A)	百万円 5,200	百万円 100	百万円 80	百万円 50	円 銭 4.75
2022年10月21日 修正予想	未定	未定	未定	未定	未定
実績値(B)	6,256	322	312	56	5.36
増減額(B-A)	1,056	222	232	6	-
増減率(%)	20.3%	222.2%	290.4%	13.0%	-

2. 差異の理由

売上高は、インキュベーション事業での営業投資有価証券の売却、ならびに商品流通プラットフォーム事業での法人向け卸販売による売上発生により、計画比 20.3%増の 6,256 百万円となりました。インキュベーション事業においての売上高は計画比 178.8%増の 1,115 百万円となります。後述記載の貸倒引当金繰入の発生が想定されたことから、期初計画を上回る営業投資有価証券の売却を行っております。商品流通プラットフォーム事業での法人向け卸販売による売上高は690百万円となります。なお、法人向け卸販売に関しては撤退事業となるため2023年9月期以降の売上は発生しない見込みです。

営業利益は、上記のインキュベーション事業における営業投資有価証券の売却により、計画比 222.2%増の 322 百万円となりました。また営業利益の増加にともない、経常利益は計画比 290.4%増の 312 百万円となりました。

3. 貸倒引当金繰入計上について

当社は、2022年9月期第3四半期(2022年4月1日～2022年6月30日)において、418百万円の貸倒引当金の繰入計上を行っております。貸倒引当金の繰入計上の経緯、概要については以下のとおりです。

・経緯・概要

当社連結子会社である株式会社 SynaBiz にて、2019年8月頃から2022年7月までの間、自社で仕入れた商品を代行業者に販売委託しインターネットオークション等への出品や中古品取扱業者へ販売を行う事業を展開しておりました。

2022年7月、代行業者により預託在庫を契約に反する態様で転売されている事実が判明したことから、代行業者に対して販売相当額の返還を申し入れました。協議の結果、販売代金支払債務の不履行に関する和解金として418百万円を代行業者より株式会社 SynaBiz に支払う旨の合意がされたことから、2022年9月期第3四半期において貸倒引当金繰入額を販売費及び一般管理費に計上しております。

上記の貸倒引当金繰入額につきましては、2022年8月12日公表の「2022年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映しております。また、本件和解金の支払い期間は10年間に渡るため、和解金の受領にともなう貸倒引当金戻入額に関しては、随時受領額を販売費及び一般管理費として計上する見込みとなります。

以 上